

看護研究入門

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 高橋 亮 教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

エビデンスに基づいた看護ケアを学ぶ上で必要となる看護研究論文を読むために必須な文献講読の基礎的能力を身に付け、併せて研究のプロセスを理解することを目的に看護研究の基礎を学ぶ。また、看護研究論文を実際読みこなすことで、研究目的とそれを明らかにする方法、さらに結果の解釈から考察を読み解き、看護研究の必要性と可能性について学びを深める。

・教育成果（アウトカム）

研究論文の構成や内容を理解することができる基礎的能力を修得する。また、看護研究の実例をもとに学修することで具体的な研究手法を身につけ、今後の自己の研究課題に取り組むイメージをもつことができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1,2,3

・到達目標（SBO）

1. 看護研究の役割・意義について理解できる
2. 看護研究の種類を理解できる
3. 文献検索の方法を習得し論文講読ができる
4. 看護研究における代表的な研究的手法について理解できる

・ 授業日程

(矢) 東 2-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/3	火	2	成育看護学講座	高橋 亮 教授	看護研究の目的・役割・種類 ・看護における研究の意義と必要性を理解できる
4/4	水	3	成育看護学講座	高橋 亮 教授	研究デザインの種類と特徴 ・量的研究方法の基礎的な知識を修得することができる ・質的研究方法の基礎的な知識を修得することができる
4/6	金	2	成育看護学講座	高橋 亮 教授	文献検索の方法と文献レビュー ・研究論文を検索することができる ・研究論文の各構成内容をクリティークするときの視点がわかる
4/13	金	2	成育看護学講座	高橋 亮 教授	研究論文の構成① ・研究論文を構成する各項目・要素について理解できる
4/18	水	1	成育看護学講座	高橋 亮 教授	研究論文の構成② ・研究論文を構成する各項目・要素について理解できる
4/18	水	3	成育看護学講座	高橋 亮 教授	統計的手法を用いた分析 ・看護研究でよく用いられる統計的検定法の基本的知識を修得することができる
4/20	金	2	成育看護学講座	高橋 亮 教授	研究論文の講読と要約作成① ・研究論文を読み、論文構成ならびに内容を理解することができる ・研究論文を読み、要約することができる

4/27	金	1	成育看護学講座	高橋 亮 教授	研究論文の講読と要約作成② ・ 研究論文を読み、論文構成ならびに内容を理解することができる ・ 研究論文を読み、要約することができる
------	---	---	---------	---------	--

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	かんたん看護研究	桂敏樹 星野明子(編)	南江堂	2012
推	SPSS と Amos による心理・調査データ解析 [第2版]	小塩真司(著)	東京図書	2011

・成績評価方法

定期試験 70%、レポート 30%により評価する。

・特記事項・その他

<p>【事前学修内容及び事前学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・レジメ等を用いて事前学修（予習または復習）を行うこと ・上記の事前学修は全ての授業に該当するものであり、各授業に対する事前学修時間は最低 30 分を要する <p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に課す課題等については、次回の講義で解答・解説する。 <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師（別表3）：統合分野 看護の統合と実践</p>

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影